サポート情報記事

Password Vault で PIN コードを設定する方法

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

始める前に 4

PINコードの設定画面が表示されるタイミング 4

PIN コードの選び方 5

PIN コードを設定する 5

設定後の動作 6

PIN コードを忘れた場合 6

始める前に

Password Vault は、SharePoint Online と Microsoft Teams 向けの個人用パスワードマネージャーです。ユーザーはそれぞれ自分の保管庫を持ち、保管庫は暗号化されたファイルとして自分の OneDrive のアプリ フォルダーに保存されます。最初のエントリを保存する前に、**PIN コード**で保管庫を保護します。PIN コードはちょうど 4 桁の数字で、保管庫を開く (ロック解除する) ときに入力します。保管庫のロックが解除されている間は、PIN コードを再入力しなくても、パスワードの表示やコピー、エントリの追加、編集、削除、PIN コードの変更を行えます。

PIN コードの設定は 1 回だけです。Password Vault Web パーツが配置されているすべての SharePoint ページ、サイト、Microsoft Teams のタブや個人用アプリで、同じ保管庫、つまり同じ PIN コードが使用されます。

PIN コードの設定画面を開くには、次のものが必要です。

- Password Vault Web パーツが配置されたページまたは Teams タブ (KB10438. Password Vault Web パーツをページに追加して保管庫を作成する方法を参照)
- Microsoft 365 テナント内の OneDrive (保管庫ファイルはここに作成されます)
- 管理者によって承認された Microsoft Graph アクセス許可 **Files.ReadWrite.AppFolder** (KB10454. Microsoft Graph のアクセス許可 Files.ReadWrite.AppFolder: Password Vault に必要な理由と承認方法とKB10360. SharePoint 管理センターで Vitextra ソリューションの Microsoft Graph API アクセス許可を承認する方法を参照)

設定画面の代わりに「*申し訳ございません。問題が発生しました。ページを更新してやり直してください。*」と表示される場合は、KB10459. Password Vault が読み込まれない理由: 「問題が発生しました」とアクセス許可のエラーを参照してください。

PINコードの設定画面が表示されるタイミング

Web パーツは、次の 2 つの場合に **PINコードの設定** 画面を表示します。

- **Password Vault を初めて開いたとき。** Web パーツは OneDrive に保管庫ファイルが見つからないと、空のファイルを自動的に作成し、PIN コードの入力を求めます。
- **保管庫がリセットされた後。** 間違った PIN コードが 5 回連続で入力されると、保管庫はブロックされ、リセットすることしかできなくなります。リセットする

とすべてのエントリと PIN コードが消去され、この画面から再び始めることになります (KB10455. Password Vault で PIN コードを誤って入力した場合: 5 回失敗するとどうなるかを参照)。

この画面には、次のものが表示されます。

- 見出し　**PINコードの設定**　と、テキスト「*PINコードを入力して、マスター秘密キーを生成します。PINコードは後からいつでも変更できます。*」
- 1 桁ずつ入力する 4 つのボックス
- **保存**ボタン
- 脚注「*PINコードを忘れると、データにアクセスできなくなります。*」

PIN コードの選び方

PIN コードはちょうど 4 桁の数字 (0–9) で構成されます。ボックスには文字やその他の記号を入力できません。桁数が少ないため、慎重に選んでください。

- **推測しやすい組み合わせは避けてください。** `1234`、`0000`、`1111`、`2580` や生まれた年などは、誰もが最初に試す組み合わせです。
- **ほかの場所で使っている PIN コードを使い回さないでください。** たとえば、銀行のカードや携帯電話の PIN コードです。
- **覚えやすいものを選んでください。** 「PIN コードを忘れた場合」の機能はありません (後述)。
- **周りの視線に注意してください。**　入力中の数字はボックスに表示され、マスクされません。

メモ

PIN コードは Web パーツ内でのエントリへのアクセスを制御し、5 回の試行制限によって推測から保護されます。保管庫ファイル自体は OneDrive に保存されたままで、そこにあるほかのファイルと同様に Microsoft 365 のアクセス制御によって保護されます。PIN コード、暗号化、ストレージがどのように連携するかについては、KB10452. Password Vault によるデータの保護: 暗号化、PIN コード、ストレージで説明しています。

PIN コードを設定する

1 Password Vault Web パーツが配置されたページまたは Teams タブを開きます。**PINコードの設定** 画面が表示され、カーソルは最初のボックスにあります。

2 4 桁の数字を入力します。カーソルは自動的に次のボックスに移動します。
3 数字を確認して、**保存**をクリックします。このボタンは、4 つのボックスがすべて入力されると使用できるようになります。

保存をクリックすると、Web パーツはブラウザー内で PIN コードから暗号化キーを導出します。このキーはどこにも保存されず、保管庫のロックが解除されている間、開いているページのメモリ内にのみ存在します。PIN コードもそのハッシュも保存されません。保管庫ファイルに保存されるのは、ランダムなソルトと、後で PIN コードを確認するためのチェック値だけです。

PIN コードを保存できなかった場合は、**PINコードの設定**画面が表示されたまま、赤いエラー バーに「*申し訳ございません。問題が発生しました。ページを更新してやり直してください。*」と表示されます。

設定後の動作

PIN コードを保存すると、次のようになります。

- 保管庫は使用可能になり、**ロック解除**された状態になります。PIN コードを再入力しなくても、すぐにエントリを追加できます。
- 最初のエントリを**新しいアイテム**で作成するまで、一覧には「*このリストにはアイテムはありません。*」と表示されます (KB10443. Password Vault でエントリを追加、編集、削除する方法を参照)。
- Web パーツ内でクリックやキー入力が 5 分間ないと、またページを再読み込みするたびに、保管庫は**再びロック**されます。ロックされるとエントリの一覧は非表示になり、代わりに **PINコードの入力**画面が表示されます。PIN コードを 1 回入力すると、保管庫が再び開きます (KB10451. 自動ロック: Password Vault が PIN コードを再度要求するタイミングを参照)。
- 間違った PIN コードを入力すると「*PINコードが正しくありません*」と残りの試行回数が表示されます。間違った PIN コードが 5 回連続で入力されると、保管庫はブロックされ、リセットすることしかできなくなります。リセットするとすべてのエントリが削除されます。

PIN コードは、歯車ボタン **構成** → **PINコードの変更**でいつでも変更できます。エントリはそのまま保持されます。手順はKB10450. Password Vault で PIN コードを変更する方法で説明しています。

PIN コードを忘れた場合

警告

忘れた PIN コードは、復元もリセットもできません。ユーザー自身も、管理者も、保管庫のデータを一切保存していない Vitextra もできません。Password Vault を再び使用する唯一の方法は保管庫をリセットすることですが、リセットするとエントリがすべて削除されます。PIN コードは安全な場所に保管し、重要な資格情報は組織が承認した別の場所にも保管してください。

利用できる選択肢については、KB10460. Password Vault の PIN コードを忘れた場合の対処方法で説明しています。

ヒント

Password Vault を初めて使用する場合は、KB10441. Password Vault: エンド ユーザー向けクイック ガイドで日常的な使い方を確認できます。また、KB10455. Password Vault で PIN コードを誤って入力した場合: 5 回失敗するとどうなるかでは、試行回数のカウンターがデバイス間でどのように機能するかを説明しています。